

小栗のFACEBOOKでのコメント（2025年12月～2026年1月）

（1）2025年12月5日14:44

■サンフランシスコ講和条約を認めないと中国が発言したことに対して、日本は、講和条約締結前の状態に戻り、台湾は日本領になるから、日本と台湾の問題は日本の国内問題になって、中国が口を出す権利がなくなるんだよ、と、快哉をあげている人がいるようです。いつも中国は自分勝手の変な理屈で、おかしなことを平気で言うことを指摘したい（その点は私も同感）のでしょうかけれど、少し違いますよ。

■講和条約を否定することは、日本が占領されている状態に戻るということです。講和条約の前に、日本はポツダム宣言を受け入れていて、敗戦を認めているわけで、GHQと進駐軍に支配された占領期に戻ることになるのです。日本にとってそれは全く嬉しいことではありません。

（2）2025年12月26日12:38

【「沖縄情報」に又吉秀樹さんが2025年12月26日4:56に投稿した写真に、「反撃能力より日中友好すわり込み歓迎」と記された看板が写されていた。それを紹介した上で、小栗が記したコメント。】

■警察組織を無くし、犯罪者と宴会を、と読み替えられます。しかし、これを見て誰も、その通りとは思わないでしょう。そんなバカなことがあるか、と思うでしょう。それなのに軍が関わると、とたんに思考停止となって、そんなバカなことがあるか、とは思わなくなる人があります。だから、このような看板の文字が無くなりません。（小栗）

（3）2026年1月15日11:32

【朝香豊さんが、1月14日23:33にFACEBOOKで述べたコメントを紹介した上で、小栗が述べたコメント】

*****以下、朝香さんのコメント*****

前川喜平氏は「世界中が高市政権を見限つてるので、それでも推してるのは、バカな日本人だけだ」と投稿したが、では7割以上の日本人はバカってこと？前川氏の「世界中」って、中国、ロシア、北朝鮮ってことかな？少なくともアメリカは入っていないよね？

*****以上、朝香さん。以下が小栗のコメント*****

■前川氏は元文科省の偉い人。高位高官の中にも売国奴がいて、この国を左右しようとしていることに、恐怖を感じるべきです。敵国のためにスパイしているのと同じです。（小栗）

（4）2026年1月19日22:57

【産経新聞（ネット）の記事「立民の安住幹事長、辺野古移設に「ストップは現実的ではない」中道の方針説明」（2026/1/19 13:33）を紹介しながら小栗が述べたコメント。】

■安保法制を認め、辺野古移設も認める、原発もOK、、、新党ができる、何でもダメダメだった立憲の議

員が考えを改めるなら、それは大きなメリットがあったと言えるでしょう。しかし、元の考えのままの立憲議員も多く出そうな気がする。この転身は、そんなに簡単にできることなの？ 新党はすぐ破綻する気がしないでもない。（小栗）

（5）2026年1月20日20:41

【森清輝さんが、2026年1月20日にFACEBOOKで、産経新聞（ネット）の記事「立民・小西洋之氏、安保法制合憲を容認「党見解と整合」 有田芳生氏は「違いは一旦横に」（2026/1/20 14:20）を紹介しながら、次のコメントを述べた。それを引用した上で、小栗が述べたコメント】

*****以下、森さんのコメント*****

小西洋之、180度変節だが良いんだな？！

有田芳生、中道連合でやっていくなら、一旦横に置いておく余裕なんかないで！！

安全保障、原発などの政策不一致、真逆の二党が一緒になるってありえへんと思うがなあ！！

*****以上、森さん。以下が小栗のコメント*****

■森さんの言うとおり、まったく同感。立憲の滅茶苦茶ぶりが有権者によく分かるので、プラスの効果がないわけではない、とも思っています。（小栗）

（6）2026年1月21日12:19

【てどこん ボギーさんが、立憲民主党の安住幹事長が、立憲は最近まで米軍普天間基地の辺野古への移転に反対してきたが、政権を担うことになれば辺野古移転はストップさせない、と述べた会見動画を紹介しながら、1月20日にFACEBOOKで次のコメントを記した。それを引用した上で小栗が述べたコメント。】

*****以下、てどこんさんのコメント*****

意味わかりますか？

わからないので二度流します。

野党の時には辺野古反対で、

与党になれば容認としか聞こえない。

いったいどちらなのか？

公明党さん、こんな連中と本当に

一緒にやれるのですか？

*****以上、てどこんさん。以下が小栗のコメント*****

■辺野古に反対したのは、政権をイジメるための道具でしかない=辺野古移転を行うのが正解、ということです。野党の言うことは信用しない方がよい、ということの証左です。

■村山内閣のときも、それまで社会党が反対していた自衛隊違憲、日米安保反対、原発反対、をすべて肯定に転じましたが、下野すると再び社会党はすべてに反対になりました。これも上と同じ論理。

■従って、政権が言っていることが常に正しくて、野党の言っていることは正しくない（イジメの道具）、ということを、この動画は説明してくれている訳です。立憲はメチャクチャだということを、これまで知らなかつた人は、これを機に知ると良いと思います。（小栗）